

春浅い大菩薩東側の静かな尾根を歩く 牛ノ寝通り

実施日 2012年4月15日(日)
天候 晴れのち曇り
リーダー 涌井 良明
参加者 服部美千代、佐藤金治、涌井良明、
島本陳重、鈴木政三、山崎富美江、
鈴木恵美子、石附智江、渋谷賢寿、
渋谷京子、遠井謙策、中村友子、伊
藤久雄、関塚七海、小名秀鋭、石附
智子、G(鈴木佳代) 計17名
費用 JR1,680円、タクシー1,550円、バス1,
100円(立川起算) 計4,330円
タイム 甲斐大和(8:02~8:15タクシー)小屋平
(8:45~8:55)石丸峠(10:30~10:40)
榎ノ尾山(11:50~12:25昼食)大
ダワ(13:26~13:26)モロクボ平(1
4:10~14:15)小菅の湯(14:59~15:
20バス)上野原(16:40~16:52)

笹子トンネルを抜けると、それまでの曇空が一転、快晴であった、誰のお蔭？

17人の大部隊はいまだ梅の花の見られる日川林道をタクシーで小屋平へ向かう。標高が上がると昨日の雪がうっすらと残っている。



小屋平から石丸峠へ雪で化粧直された道を登る、笹に着いた雪や落葉松を通した青空でメルヘンチックな歩きのスタートとなった。

途中で林道を越し、雪、碧空、南ア、富士山などの展望で素晴らしい登りとなった。今日のタイミングの妙には脱帽である、高度につれ雪も多くなり、新雪に動物の足跡が我々を先導するように続いていた。右手の富士と先程までその中にいた谷を覆っている雲が尾根を越して流れる滝雲となりアクセントをつけてくれる。お蔭でどうしても歩きも遅くなっていく(本音は喜んでいたので)



時間をかけて白く輝く石丸峠に着く、快晴・無風が有難い。山と天候に感謝。

南大菩薩への道と別れて牛ノ寝に入るが入口からズボっとはまる雪道である、

しばらくは雪の下りになるが凍ってはいないので危険は感じない。この道は長い下りが続く山下りのルートなので単調ではあるが静かなのが良い所か？

と思ったらマウンテンバイクのあんちゃんが雪道もなんのその追い抜いて行ったのには、ちょっと唖然。でもその筋では人気のルートなのかも。



そのうち雪も少なくなりやっとな早春の尾根歩きになる。一時間余りで

明るい榎ノ尾山に着いて、丁

度時間も良いので昼食とした。

やわらかい日差しを受けての尾根上の憩いであった。相変わらずの単調な下り気味の牛の背中の道に行くが連なるピークは何となく避けるように巻いており、どこを通過中なのかの判断がちょっとややこしい。周囲の尾根の張り出しや地形での確認する作業が必要だろう。

予想よりは早いタイムで大ダワに到着した、ここからは主稜線と分かれて田元方面へ下っていくことになる。

所々栈道のある尾根を絡む下りをしばらく進み、山沢川経由への分岐を過ぎ、田元BSへの分岐から右へ小菅の湯へ下りをとるが、間伐中と思われる伐採後の倒木がうるさい。倒木帯を抜けるとしばらく植林の下りが続き、山沢川にかかる橋のたもとに降り立ち、舗装された道を少し登って小菅の湯に。反省会を鑑みて？入浴は省いて車中人になる。



で、数人を除き高尾の例会もしっかりこなして帰宅となった。皆さんお疲れ様、午前中がハイライトの山行だったけど、山って良いもんですね。これに懲りずにまた一緒に行きましょうね。

(記&写真・涌井 良明)

(写真提供・伊藤 久雄)